

あっぷる通信



第6号

平成12年7月8日発行

編集発行 小松整形外科医院
発行責任者 小松 満
編集 改善委員会
印刷 きど印刷所

「待合室の拡張工事、完了しました」

当院では、来院される方々に、より快適な環境を提供したいと考え、待合室を広くし、屋外にカフェテラスを設けました。

毎日多くの方々に来院して頂いており、待合室を広げて欲しいとのご意見が寄せられました。そこで、待合室のイスの数を、

約20席から40席以上へと2倍以上に増やしましたので、比較的ゆつくりと待っていただけのようになつたかと思えます。

工事中は、来院していただいた方々にご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力のおかげで予定通り工事が完了しました。

心よりお礼申し上げます。



また、駐車場を広くすることも検討しており、近々拡張予定でいます。

しばらくの間、駐車スペースが狭いとは思いますが、皆様、他の方々の迷惑にならないように駐車して下さいよう、お願い致します。

ペインクリニック

国立水戸病院麻酔科に12年間勤務いたしました。7月より水戸市中央ビルにて開業しております。

私は小松整形外科では全身麻酔を担当しておりますが、診療所ではペインクリニックをおこなっております。

痛みを伴う病気全般について診療いたしますが、なかでもペイン（痛み）クリニックで得意な疾患は三叉神経痛、帯状疱疹後神経痛、顔面神経麻痺、腰痛、慢性神経痛などです。

ペインクリニックの治療の特徴は原疾患に対して治療できない、あるいは原因が不明でもとにかく痛みを軽くすることです。やっかいな慢性痛で悩んでいる方は、ご相談下さい。

診察の結果、小松先生や中島先生始め他科の先生に診てもらおうほうが良い場合は改めて紹介いたします。

治療は薬も用いますが、特殊治療として神経ブロック（注射）、光線療法、電気ハリ治療、イオン浸透療法などを行っております。また、私の属している中央診療グループはいわゆるメディカルモールとして複数の診療科の先生方が開業しておりますので、

合わせてご利用の程よろしくお願い致します。

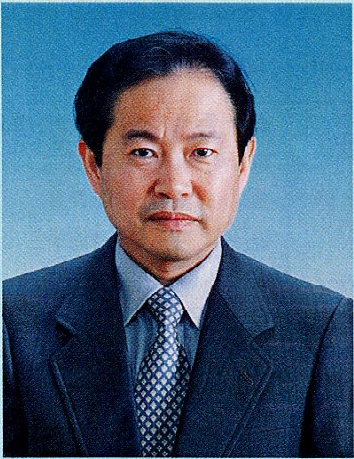
中央ますいクリニック

松前 孝幸

水戸市泉町二―三―二

中央ビル七階

電話 〇二九(三〇二)五二三五



世間の常識 ウソ？ ホントー！

「つき指に気をつけて」

多くの人はつき指の経験があると思います。

つき指とは、ボールが指先に当たったり、転んで手を床に突いたりして起こります。

昔、子供の頃に「つき指をしたら指を引っ張れば良い」と教えられた記憶がありますが、これは本当のことでしょうか？

つき指とは、指の捻挫のことを言います。つき指と軽く考えていると、靭帯の断裂、骨折、脱臼など、重大な損傷の場合があるので注意しなければなりません。

指を引っ張って治るのは、おそらく脱臼の場合でしょう。指の脱臼は比較的簡単で、指を引っ張るだけで整復（元に戻すこと）が出来ます。それでつき指は引っ張れば治るといふことが言われるようになったと考えられます。脱臼以外の靭帯の断裂や骨折は指を引っ張っても治りません。

脱臼の場合は指が曲がっているのですぐに病院を受診するようにです。問題なのは靭帯の断裂の時です。俗に言うところの第1関節（指の先端に近い方の関節）の靭帯断裂の場合に受診が遅れる傾向にあります。

つき指をして第1関節をまっすぐに伸ばすことが出来ないとときはすぐに病院に行って下さい。靭帯断裂か小さな骨折があります。時間が経つと治療がきわめて困難になります。つき指の時は自分で指を引っ張っても治りませんので、一度整形外科に行くことが大事です。

院長 小松 満



お薬ひとつくちメモ

《「癒し」ブームの中から》

さて、今回はちよつとみなさまには馴染みのない話になるかもしれませんが、薬学専門誌にあちこち取り上げられている話題を紹介しましょう。

何かとストレスがたまりがちな今の世の中で、「癒し」グッズといわれるものが数多く出回っています。

我が国で、いわゆる健康食品として、セント・ジョーンズ・ワート（和名・セイヨウオトギリソウ）を含む食品が流通しています。この商品は、落ち込んだ時、気持ちがいっぱい時、自信がもてないとき、気軽に服用できると米国で大人気のハーブ」といったふれこみで販売されています。セント・ジョーンズ・ワートは、主にヨーロッパから中央アジアにかけて分布している多年生植物で、この植物から抽出されたエキスは、医療用の抗うつ剤と同様、抗うつ作用を持っています。

先頃、厚生省から、この植物を含む健康食品が医薬品との間で相互作用を起こすことがある、と発表されました。

例えば喘息の薬で気管支を拡張するテオフィリンは、相互作用によって血液の中の濃度が低下して十分な効果が得られない可能性があります。このほかに、血液が固まるのを防ぐ薬（ワーファリン）、強心剤（ジゴキシン等）、不整脈の薬（リスモダン等）、抗てんかん剤（テグレトール等）でも起こり得ます。

このほかに、クロレラという健康食品があります。この中にはビタミンKが含まれており、相互作用によって、血栓症等で用いられるワーファリンの作用が弱まる事が知られています。ですから、セント・ジョーンズ・ワート等を含む食品は必要な薬の効果を弱めてしまうので、薬を服用している方が食するのは危険と考

えた方が良さそうです。

健康食品は医薬品とは異なり、厳しい規制がないため、効果や相互作用があやふやです。健康食品のご相談を受けることが時々ありますが、健康食品についての正確な情報が少ないため、適切な答えを出来ないことが多々あります。健康食品だからといって安易に考えないで下さい。

さわや薬局 黒沢 由子



こんな時どいつ

◆「診察室」◆

今回は、診察室についてお話ししたいと思います。整形外科の場合は、痛い部位が手や足、首や腰と様々です。みなさんも診察時に「服を脱いで下さい」とか、「下着一枚になって下さい」と言われたことがあると思います。すると、ほとんどの患者さんが「えっっっ全部脱ぐんですか?」と脱ぐことに抵抗を示します。

それは当然の反応だと思います。

しかし、診察するためには必要なことなのです。首の場合は、両腕と手指に症状が現れます。腰の場合は足に症状が現れる事もあります。また、脊椎の状態や皮膚の感覚の鈍さ、皮膚の体温などを診ながら診察しています。

みなさんの体の状態をよく把握するためにはとても必要なことなのです。ですから、診察するときは脱ぎやすい服装で来るといいと思います。女性の場合はスリッパを着てくるのもよいと思いますので、協力お願いします。

看護婦 大内ゆかり